



なかむら  
**中村農地保全協議会**  
 (多可町八千代区中村)

学生と若者も活躍する

当地域は少子高齢化が進む典型的な中山間地域です。地域の子も達が通っていた「八千代北小学校（現多可町仮庁舎）」が統合により閉校となり、その跡地を農業体験教育施設「サテライトキャンパス」にして活用を目指す住民グループが、神戸大学や神戸親和女子大学に集落の農地を学習の場として提供しています。地元農家が講師となり、地域の小学生も参加した田植え、稲刈り、草刈り等の農地管理をはじめ、捕らえた鹿を自分たちで解体し特産品開発を検討したり、日照不足を引き起こし獣害のかくれがでもあった農地周りの木を伐採して炭作りをしたりと、様々な取組を実施しています。

小学校の閉校により消えかかっていた子どもの笑顔や若者の笑い声が、田んぼを舞台に蘇ってきています。

**農業用施設の保全活動**



大学生による草刈り



鳥獣防止柵の点検・補修



箱罾の設置



水路（井堰）の適正管理

**農村環境保全活動**



みんなで田植え体験



農地周りの共同活動



施設への植栽

**将来の夢・展望**

自然体験・農業体験を通じ、地域全体を学生達にとっての「学びの場」としてより一層活用します。

学生をはじめとする都市部の若者の力を借りて、どこの中山間地域でも問題になっている、農業の担い手不足の解消を図り、先人から受け継いだ農用地の保全、持続可能な農業の確立を目指していきます。